




5歳児クラス 8月 第3回 「ざっそうの名前」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 「ざっそう」にも名前がついていることを知り、草花の名前をおぼえる。 絵本と自然博士や図鑑等の絵を照し合わせてみるのも良い。 日ごろの生活（お散歩など）の中でも「ざっそう」に目を向けましょう。 この本は刺繍で作られていることも伝える。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「先生お散歩に行ったら、小さいお花や葉っぱをたくさん見つけたの、お母さんに聞いたら「ざっそう」って言ってたんだけど、みんな知ってるかな、この本で調べてみない？」 または自然博士を何枚か見せてから読み始めるのもよい。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> • 会話をする • 子どもの一員になりお話を聞く 	

かくしゅうタイム

活動①	ことば	ざっそうの名前の中にかくれている動物の名前を探して線を引くことができる	
設問	ざっそうの名前に動物が隠れています、名前の中の動物を探してざっそうと線を引きましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「お届けものです」プリントを袋に入れ提示する 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「なんだろうね…なにになに」プリントを提示する。 「ざっそうに動物が隠れてる？ どういうこと？」「ぶたくさに動物が隠れてるって言うんだけど、みんなわかる？」等問いかける。 ざっそうのひらがなを1つ読み問題の練習をする。理解したところでプリントを配布して始める。 全員線が引けたら答え合わせをして、花丸・ハンコで賞賛する。 		P1 赤鉛筆・ハンコ
			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> • プリントを届ける • プリント配布 • 子どものフォロー • 賞賛
活動②	知識	ざっそうカードを見て名前や特徴を知る	
設問	いろいろなざっそうの名前や特徴を調べましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？まだ封筒に何か入っているみたい」ざっそうカードを一部分ずつ見せながらゆっくりと提示する 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？みんなの分もあるみたいだよ」「欲しい人！」 意欲をかきたてながら、カードを配布する。 ①まずは、カードを裏表好きなように見る。 ②次に1枚ずつ表の花の先から本来は見えない地中の根の先までよく見て確認する。 ③裏面には、名前や特徴を読みながらざっそうの理解を深めていく。 		ざっそうカード5種 講師用ざっそうカード ★自然博士・植物図鑑 (園にあるもので)
			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> • カードを持って登場 • 子どものフォロー • 子どもと一緒に考え発言する

活動③		ことば	スリーヒントを聞いてカードを探すことができる	
設問	先生のヒントを聞いてざっそうカードを見つけましょう。			
こま	<ul style="list-style-type: none"> 講：「皆、ざっそうのことがよくわかったかな？」 			教材 スリーヒントクイズカード
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「それでは、これからスリーヒントクイズをします」等でわくわくするように始める。 ざっそうカードの表面を上にして机に並べる。 クラスの合わせて講師がヒントを出し、それに合うカードを探す。 3ヒントクイズの問題カードもありますが、難しいようであれば事前にクラスに合わせた問題を考えておく。 答え方はカードを頭の上に上げる、素早く指差す等、ルールも子どもたちと考えるのも楽しい。 クイズを楽しんだら賞賛し終了。 お散歩に行ったら、ざっそうを探すことを約束する。 			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒にクイズを楽しむ 子どものフォロー

数子ヤレ		数	10対7を見比べて多いお皿を選べる	教材
設問	おはじきを使い10個の操作をしましょう。			おはじき皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 今月は10個の操作です。お皿に5～7個入れておき、あと何個入れたら10個になるか、別のお皿（数個入っている）そこから5～3個取りお皿に入れて10個になったか数える。（クラス・個人に合わせて数を調整する。）10対7のお皿を見比べて多い方のお皿を取り、数（10こ）を数える。 			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> 皿提示 子どものフォロー

